

35周年を迎えた泌尿器科・人工透析専門病院 最新医療の提供で地域住民から信頼獲得



診療科は泌尿器科・人工透析・血管外科・麻酔科を標榜。地上5階建てで、外来診察室は救急診察室1室を含めて合計4室。入院病棟は個室21床、4床室14室を有する。最寄り駅は地下鉄南北線南平岸駅で、駐車場は124台分完備



- ①手術室は3室完備。年間手術件数は800件程度を実施している
- ②リハビリ施設を持つ泌尿器科単科病院は札幌市内でも希少。長期入院患者をはじめ、退院および転院が難しい療養患者や在宅医療患者などの機能維持・向上をサポートしている
- ③地域医療の担い手として「全ては病気で困った人のために」をモットーとしている

理事長 丸 晋太郎氏

2003年獨協医科大学医学部卒業。13年北海道大学大学院医学研究科医学専攻博士課程修了。帯広厚生病院、市立札幌病院を経て、16年より現職。日本泌尿器科学会指導医・専門医。医学博士

仁榆会札幌病院は、泌尿器科・人工透析の専門病院として1988年に開院。2023年6月には開院35周年を迎えた。21年8月に新築移転しており、外来患者数や手術件数も増加。丸晋太郎理事長は「地域のみなさまからの信頼を感じています。さ細な症状から大きな手術まで、専門治療を通して、期待に応えていきたい」と語る。

尿管結石や排尿障害などの泌尿器科系疾患全般に対応。60床の透析室を設けており、系列の澄腎クリニック（豊平区平岸）50床と合わせて、入院・外来・夜間・臨時（旅行）の透析にも対応している。

前立腺肥大症に対しては、最新の手術法を導入している。18年に道内で初めて「接触式レーザー前立腺蒸散術（CVP）」を導入したが、22年10月には最新型ファイバー「XCAVATOR（エクスカベーター）」を追加。体への負担が大きい核出術のみ対応可能だ

つた100cc超の前立腺肥大にも対応できるようになった。

さらに23年5月には、22年9月から国内での施術が可能になった「経尿道的水蒸気治療（WAVE）」も導入。水蒸気を前立腺組織内に噴霧・充満させることで、肥大部分を壊死させる低侵襲な手術法だ。丸理事長は「手術時間は10分程度で、出血や痛みがほとんどない。抗血栓薬を服用中でも適用可能なため、これまで手術ができなかった超高齢や合併症、出血傾向のある患者さんも手術ができるようになっていきます」とメリットを語る。

院内には100㎡超のリハビリ室も設置。がん患者など日常生活動作（ADL）が低下した患者が社会活動に戻るまでのサポートにも注力している。丸理事長は「50周年に向け、安全かつ良質な医療の提供により、地域に必要とされる病院として存在感を高めていきたい」と意欲的に語った。

泌尿器科(人工透析)・血管外科・麻酔科

医療法人 仁榆会

仁榆会札幌病院

☎011-814-9911

札幌市豊平区中の島2条7丁目1-1
<https://www.jinyukai.or.jp>

診療時間／
受付開始は8:45から
水曜は特診外来（一般外来は休診）
新患 午前 9:30～（受付 11:00まで）
午後 14:00～（受付 16:00まで）
再来 午前 9:00～（受付 11:30まで）
午後 13:30～（受付 16:30まで）
休診／土曜午後・日曜・祝日・お盆・年末年始・
開院記念日(6月15日)
最寄りアクセス／じょうつバスジェイコー病院前から
徒歩1分、地下鉄南北線南平岸駅から徒歩13分